

特集＝中国の赤い巨星・毛沢東逝く



スターリン（右端）の誕生日祝典に同席した時の毛主席（1950年1月）

# 巨人政治家の時代は終わった

## 座談会 スターリン・ドゴール 毛沢東を比較する

「巨人政治家」の最後の一人が、ついにこの世から姿を消した。ルースベルト、チャーチル、スターリン、ドゴール、ほかにネール、スカルノ、ナセル、ホー・チ・ミン、そして周恩来らの「巨星」たちが、キラ星の如く輝いた第二次大戦から戦後にかけての「国際政治のゴールデン・エージ」——その幕引きに、うつつの巨星であった。八億の人民を統治した中国共産党主席・毛沢東の秘密はどこにあったのか。

出席者（発言順）

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 東大助教授<br>（現代中国論） | 中嶋         |
| 成蹊大教授<br>（中国現代史） | 嶺雄<br>（司会） |
| 元駐英大使            | 宇野重昭       |
| 国際問題<br>評論家      | 松本俊一       |
| 東大助教授<br>（連現代史）  | 笹本駿二       |
|                  | 菊地昌典       |

★毛主席露録★

諸君は多くの長所を有し、諸君の功労は大きい、だからといって、決して思い上がってはならない。



★毛主席語録★ 世の中には「まじめ」ほどこわいものはない。共産党がもっとも重視するのは、この「まじめ」である。

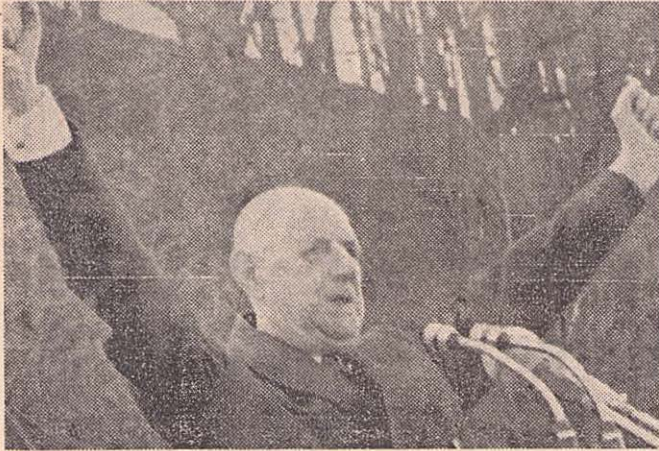
中嶋 毛沢東の生命が終わったということは、たいへんな衝撃で、この際、偉大な政治家としての毛沢東の生涯をふりかえり、その功罪、歴史的意味を考えていたきたいと思えます。

まず毛沢東は、スターリン、ドゴールのどちらにいちばん似ていたか。この三人を見くらべるだけでいいの、という問題もあるけど……。わたくしの感じでは、毛沢東というのは、個性的な政治家であり、革命家であったことは、言うまでもないんですけども、

中国の近代史の中だからこそ、毛沢東という個性的な政治家が生まれた、ということにもなるわけですね。

宇野 一言でいってしまうと、ひじょうに個性的なんですけれども、毛沢東自身は、自分の個性を強く出されることを望まないで、自分は中国革命の中から生まれたんだ、ああいう環境に生まれなかったら、おそらく平凡な人間で終わっていたらう。時代や環境が自分をこういう人間にしちゃったんだ、と好んで言ったんですね。しかし現実には、ひじょうに個性的で、同時に、ひじょうに中国的な人間でもある。

中嶋 十九世紀から二十世紀に



はじめて中国を承認したドゴール仏大統領

かけて、中国に対する列強の分割競争がはじまり、義和團事件、やがて辛亥革命がくる。そういう時代に、毛沢東は湖南の農村に生まれて、農民闘争がおこり、それに對する残酷な仕打ちが行われるのを見て、悩める青年になつていくわけですね。

そして彼はまず父親に対して抵抗しますね。あの当時の中国の家族制度における父と子の関係、父親に対するコンプレックス、それから欲求不満、ずっとそういうものがあつて、それがやがて湖南

の師範学校から革命運動の指導者を目指し、中国共産党の創立段階に加わることになる。

しかし当時の共産党には、モスクワ帰りのようなエリートが、キラ星のようにいて、自分はそのすこい田舎出であるし、そういうことに対するコンプレックスと欲求不満、それが、やがては毛沢東路線を確立していくというポイントでユニークだと思つてんですけど

ね。

毛沢東自身

は、或向きの言葉として、宇野さんのおっしゃるのとおりですね。そして「マルクス・レーニンの後継者」という言葉は、自分が言ったのか、ほかが言ったのか知りませんが、あの標語はいたるところに書いてあります。じつは、わたくしはマルクス、レーニン、毛沢東というのは、そんなつながらないように思つてます（左派の別稿参照）は、素の始皇帝に始まって、漢の武帝、唐の太宗、元の成吉思汗と英雄を並べまして、結局は現代にこそ英雄が輩出する、ということをおっしゃっている。

### マルクス・レーニンよりも孫文とつながる

松本 つまり、その英雄は自分だ、ということでしょう。中嶋 わたくしはそう見るわけです。彼の心の奥には、そういう考えがあるんじゃないか、という気がするんですけどね。宇野 毛沢東は、自分が特別の偉大な人物だといわれることを避けていると言ったけれども、実際には、いま詩のことが出たように、自分が英雄であることを認めるようなことも言っているし、エドガー・スノーに言っている言葉にしても、みんなから尊敬されなければ、自分の書いたことや言ったことが重んじられないんだから仕方がない、というようなことも言っています。ただ、それでも毛沢東がもっている一種の特殊条件というものを、あまり拡大して解釈していいものかどうかですね。が、それを創造的、天才的に発展させたとは、言わないんですけど。かつては劉少奇が言ったし、最近では林彪が言った。また側近の人たちがそれを強調する。言わせておいて、毛沢東はそれを事実上認めていて、という形をとっているわけですね。この点で注意したいと思うことは、一九四五年いらい、マルクス主義、レーニン主義という言葉に對して、毛沢東思想という言葉を使っていることですね。「共産主義中国におけるイデオロギーと組織」を書いたアメリカのフランツ・シュールマンは、マルクス主義



とかレーニン主義とかいうのは、哲学とか、もつと深いものにかかわる純粹なイデオロギーのものであつて、毛沢東思想というのはこれは思想形式、もつとフラクチカルな実感主義的な理論の問題で、むしろ応用面においての独立性を、みずから認めている、というような解釈をしております。そのシュールマンの解釈が必ずしも正しいとは思わないまでも、私も、

マルクス主義やレーニン主義を受け継いで発展させたのが毛沢東である、というよりは、むしろその応用面、戦術、戦略面において、毛沢東の特徴はあると思う。その毛沢東がなぜマルクス・レーニンの後継者であることを強調するかといえば、これは明らかにコミンテルンの影響下に発展したためですね。あの段階では、自分はマルクス主義者である、その正

雪

北国の風光よ  
千里 氷 封じ  
万里 雪 飄る  
長城の内と外を望めば  
准だ 莽莽たるを 余すのみ  
大河の上  
たちまち 酒涌たるを失つ  
山には 銀蛇舞い  
原には 蝶象馳り  
天公と 高さを比ぶるを  
試んとす  
晴れし日を須ち  
紅の装と 姿を看れば  
ことのほか 妖しく嬌かし  
からん

江山 かくのごと多嬌かし  
無数の英雄を引で 戦に折  
腰をせしめぬ  
惜むらくは 秦皇 漢武  
略 文采において 輪け  
唐家 宋相  
稍 風塵において 逐る  
一代の天驕  
成吉思汗も  
ただ 弓をひきて大雁を射  
るを 識るのみ  
俱 往矣  
風流の人物を数えんには  
なお 今朝を 看よ  
(武田泰淳・竹内実著「毛  
沢東 その詩と人生」より)

★毛主席語録★

批判は間に合うようにはおこなうべきである。いつでも事がすんでから批判したがるようではいけない。

しい理解者である、ということが指導者としての逆条件ですよ。ですから、毛沢東という人間は、マルクス主義を信仰篤信して中国の伝統的民族主義に発展させたものだと、思うけれども、にもかかわらず、マルクス、レーニンのことを言うのは、政治的に大きな意味があると思うんです。政治的効率が高いんだから言う。言っても、それは現実的に有意義なんだからいいじゃないか、ということだと、思うんです。

宇野 毛沢東自身は、自分は孫文の継承者であることに基点をおいているわけですが、現実には明らかにギャップがあるわけです。ですから、わたくしは中国共産党が主張している意味とはちがう意味で、孫文と毛沢東のつながりのほうに、むしろ注目しているわけです。

松本 わたしも、それはそう思っています。

軍人に軍きをおくけれども、將軍は作戦指揮がうまければいい。將軍を政治的なより大きなものでリードすればいい、というふうに割り切つてゐる面があると思うんです。

ところが、毛沢東の場合には、武器をとつて戦う人間に、むしろ政治全体をひっぱつていく牽引車としての役を与える。その場合には、たんなる専門技術者としての軍人ではなくて、もつと政治性を十分に身につけさせる、そういったような軍人にする。そのときの政治性と軍人というものの共通要素は、要するに、中国が具体的な革命で実践し経験しているところに求めている。そこらへんに孫文と毛沢東の間の、かなり大きな違いがあるだろうと思っております。

軍人を兼ねた政治家という理想像

宇野 第一、共産主義の理解の仕方にして、孫文は民生主義とか大同思想とかいった考え方を共産主義と一緒にして論じているのだが、毛沢東もそのような発想はそのまま引き継いでいる。そういう意味で、価値観では孫文のものをそのままもつてきているわけですが、連続面が大きいと思います。じゃ、一体どこがちがうのか。この点についてわたくしは、孫文の時代とちがって、

毛沢東は戦術、戦略の面では、比較にならないほど発展させたと思えます。

それから武力についての考え方も、孫文の場合には、武力を重んじる点では、毛沢東と同じなんですけれども、武人というものは、どこまでも中国の伝統に合せて使用すべきだと考えているんですね。中国では文官が重んじられて、武官は軽んじられていた。たとえば陳独秀の場合にも

松本 毛沢東をスターリン、ドゴールと比較するのは、大変むずかしい。ぜんぜん別個の人物ですからね。スターリンは、レーニンが成功した革命のあとを引き受けたもので、実をいえば、スターリンはソビエト連邦というよりもロシア帝国化した、権謀術数の上での、世界史始まって以来の怪物だと思えます。毛沢東とスターリンの違いは、中国とソ連との違いで



★毛主席語録★ 仕事とは何か。仕事とは何事と何事と。仕事とは闘争である。そこに困難があり問題があり、われわれに解決を求めている。

もあるわけで、「詩」を忘れない  
毛沢東に対して、スターリンのほ  
うのソ連にいたっては、ぜんぜん  
それがない。今のソ連の後継者た  
って、テクノロジーにおいては、  
あるいはすぐれている人もいるか  
もしれないけれども、政治家とし  
ても、詩人としても、あんまり尊  
敬に値する人は、いないような気  
がしますね。

だから、わたしもソ連とは交渉  
しましたけれども、実は苦痛でし  
たね。中国へいくとある意味で楽  
しいです。それが毛沢東とスター  
リンの違いでもある。毛沢東とス  
ターリンは性格上、絶対合わないか



スカルノ・インドネシア大統領と（北京空港、1956年9月）

つたといえますね。

宇野 一九五〇年のときも、た  
いへんもめたらしいですね。

松本 ドゴールについては、毛  
沢東がどう言ったか知りませんけ  
れども、周恩来はひじょうにドゴ  
ールを褒めてますね。たとえば、  
ドゴールのアルジェリア政策を、  
ひじょうに褒めてる。アメリカも  
ベトナムをああいふうに取捨し  
たらいいんだがなあ、と当時言っ  
てました。おそらく毛沢東もドゴ  
ールに会いたかったのに、とうと  
う会えなかった。その意味でドゴ  
ールは毛沢東と似たところも多少  
あるかもしれない。

ドゴールは軍人で、それがたま  
たまフランスの敗戦によって政治  
家になった。フランスの敗戦が彼  
を大政治家にしちゃったんですけ  
れども、わたしは近世の世界でい  
ちばん好きな人といえば、ドゴー  
ールと毛沢東を推しますね。スター  
リンは、これはもうえらい怪物で  
ね。（笑い）

笹本 毛沢東が政治家であって  
軍人であるということ、これはド  
ゴールが書いた有名な本の中で、  
ほんとうのリーダーとは、といっ  
て、アレキサンダー、シーザー、  
ナポレオンなど歴史上の人物を挙  
げてから、最も理想的なリーダー

は、政治家であると同時に軍人で  
ある、軍人であると同時に政治家

である、これが必要条件という  
ことを、詳しく説明してるんで  
す。軍人であることによって、た  
だの政治家では得られない、いろ  
いろ貴重な経験が得られるし、  
政治家であれば、軍人では得られ  
ない経験が得られる、と書いてる  
んですね。毛沢東もそういう考え  
方をしていたとすれば、毛沢東と  
ドゴールは、重なる点があるんで  
すね。

それから毛沢東とスターリンは  
次元のちがうものだというところ  
これも同感なんです。ほんとうに  
偉い、すばらしい人間というもの  
は、創造性、獨創性が必要だと思  
うんです。スターリンは、レーニ  
ンがつくった一つの時代のあとの  
時代を、みごとに守っていったけ  
れども、創造性に欠けている。レ  
ーニンは創造した人であるし、毛  
沢東もそういう人ですね。既存の  
勢力の上に乗っかって偉大な業績  
をおさめた人じゃない。そうする  
とスターリンは、ちょっと落ちま  
すね。

ドゴールの場合は、戦争中たっ  
た一人でロンドンへでかけていっ  
て、「新しいフランスがある」と  
言った。これもある意味で新しい

ものを自分でつくったんですね。

ですから、彼の中にも、質はちが  
うけれども創造的なものをもつて  
いて、それを基礎にして乗り出し  
ていった。しかも戦争が終わって  
四四年に帰ってきて、四六年には  
やるわけですよ。そのときには、  
自分のやろうと思っていたこと  
が、いつの間にかボケてしまつて  
新しい力になってないんですね。

中嶋 菊池さんはどうお考えで  
しょう。  
菊池 毛沢東死後は、まず国際  
政治がひじょうに面白くなる  
という感じがしますね。小物だけ  
の国際政治になるんじゃないか、  
ということが感じられるんです。

ざつきからスターリンの評判が悪  
いので、ぼくは弁護をしたと思  
いますけれども。（笑い）  
松本 いや、評判が悪いという  
よりも、わたしはちがった人だと  
いうんです。彼は怪物としては偉  
大ですよ。（笑い）  
笹本 カテゴリーがちがうとい  
うことですよ。  
松本 日本の歴代の総理大臣に  
くらべたら、スターリンは巨人で  
す。（笑い）

根底に怪物性と創造性のちが

それから十二年たつて、自分が  
出てくるときには、自分のもの  
上に乗って新しいものをつくらう  
という考えだつた。創造的な色台  
いのひじょうに強い政治家です  
よ。しかも大きなこともやつた。

そういう意味で、二十世紀の大政  
治家といえは、毛沢東、ドゴール  
の二人ですね。もちろん、その前  
にレーニンがいますけれども。

菊池 スターリンと毛沢東の共  
通点は、外国へいつてないこと。  
ちがう点は、毛沢東は中国の哲学  
を継承し発展させて毛沢東思想を  
つくつたのに、スターリンはロシ  
アの革命思想を継承し発展させた  
という哲学がない。

中嶋 スターリンは一步も国外  
へ出てないんですか。毛沢東は二  
回ソ連へいつてますね。  
笹本 スターリンはテヘランへ  
いつたな。  
松本 ボツダムへもいつた。  
菊池 短期の旅行はしてますけ  
れども、それと亡命してないんで  
すね。レーニンとか大半のロシア  
の革命家は亡命して、レーニンは  
十年以上も外国へいつて暮らして  
ますから、彼はヨーロッパ文化を



よく知ってるし、ほかの革命家もそうですね。しかしスターリンは第二次世界大戦末期の国際会議にいったのを除けば、ほとんど出ていない。クレムリンから出てくるのは、メーデーのときだけです。農村をまわったのは、大飢饉のとき、シベリアへ出ていったくらいしかないわけですね。

宇野 外国文化の問題ですけれども、毛沢東の場合は、蔡和森という親友であり兄貴ぶんないな人がパリにいて、彼が送ってきたパリ情報、毛沢東の考え方の中に、大きく影響してるといえます。スターリンには、そういうものはないんですね。

菊地 ないんですね。しかも彼は少数民族出身者、ゲルジヤ人ですから、彼のロシア語はじつにまづい。それがソ連の統治者になった。これは毛沢東とずいぶんちがうところじゃないかと思えます。

松本 スターリンは、ジュノビエフとかモロトフとか、有能な外務大臣をもっていて、自由に手腕をふるわせて、世界をかきまわした。これはスターリンが偉かったためじゃないですか。

菊地 しかしジュノビエフをコミンテルンの初代議長にしたのはレーニン在世中ですからね。それ

からリトビノフも……。松本 ええ、これもレーニンのお弟子ですね。菊地 毛沢東は中国革命を行った点で、ロシア革命を行ったレーニンに對比すべきものだろうと思わんです。しかしスターリンに哲学はないけれども、実政治家としては偉大だった。

松本 それは偉大ですよ。菊地 怪物という点では、イワン雷帝にも比すべき人間だと思います。しかし彼の側近なり、アメリカへ亡命した彼の娘スベトラナ、そういう人の言葉を見ると、少数民族出身者がソ連の最高地位につき、まわりがどんどん神格化をやっていってしまう。彼自身は

独裁者にある一二のパターン

根本 スターリンはまわりから持ち上げられて独裁者になった、ということだけれども、出てくるやつをボカボカやつつけて落とすていった、ということはないですね。菊地 実権をにぎる一九二〇年代末までは、想像して以上にデモクラチックなことをやっていますね。

宇野 一九二〇年代のスターリ

クモの巣にかかったチョウみたいな形で、必死の抵抗をしているけれども、どんどん持ち上げられて、ついに雲上人にされてしまふ、という悲劇的な男だ。

そういう見方もできるんですけども、面白さの点でいえば、思想、あるいは哲学のないこと。スターリンの芸術論、あるいは哲学論なんかもある一定のパターンを押しつけて、自由な発想をつぶしていく、というような面があったと思うんですね。フルシチョフが「ロバのシツポ論争」をおこして話題になりましたけれども、スターリンの芸術その他に対する見方も、あの程度のものであったらうと思うんですね。

ンは、高く評価されることが多いし、毛沢東もわりあい評価されていますけれども、毛沢東がスターリンから学んだものは何か、ということですね。

菊地 恐らくは実際問題として学んだものはないんじゃないかと思わうんですね。革命後の社会主義建設のパターンとしては、ある一定のものは学んでいると思うんですね。でも、毛沢東がスターリンを

評価しているのは、レーニンの思想の体系化、あるいは整理学ですね。宇野 それもきわめてブラクチカルな整理ですね。菊地 ええ。ですから、しよせんスターリンは、ロシアの思想を受け継ぐ哲學的な政治家になりえなかった。

宇野 たしかに毛沢東がスターリンから学んだとはいえないでしょう。ただ一九四〇年代初期の毛沢東の当時のいろいろな整風に関する指示やなんかを見ると、スターリンのレーニン解釈の仕方をおぼえていますね。つまり、きわめて現実主義的な、レーニン解釈方式を学ばして、きわめて実地的な指示をやって、それにもとづいて延安整風を展開する、という側面を

もつてと思うんです。毛沢東はそういうたきわめて現実的な、職務的な政治家で、その点ではかなりスターリンと似たものももっていた。

松本 そこでね、レーニンはスターリンという、実家のいい後継者をもつたけれども、毛沢東に中国をもちこたえる後継者ありやなしやですね。ただスターリンはあれだけいろいろやったのに、死んだあとには評判が悪くて、赤の広場からも、いつの間にか消えちゃった。

中嶋 つらつら考えてみると、毛沢東が中国共産党の中で権力を獲得したときから四十年になんなんとする長期間、激動の社会を背負って立ってきたことは大したもので、その点ではスターリンもど

青い空、白い雲。気ままな旅に...



ワンカップ大関

★毛主席語録★ もうけんかはずみまじか。けんかをしないでためですよ。けんかをしてこそ初めて仲良くなれます。



★毛主席語録★ われわれの原則は、党が銃に命令することである。銃が党に命令することは、断じて許されない。

ゴールも、及ばなかつたんじやないでしようか。

笹本 それはもう、そのとおりです。

中嶋 毛沢東は独裁者であるという、異論があるかもしれませんけれども、とにかく独裁者であるとして、いろいろくらべてみると、どうでしょう。独裁者のパターンには、大衆と接していくのと、そうでないタイプとがある。ものすごい自己顕示欲タイプと、それを抑えることによって神秘的なものをもちだし、それが大衆をリードしていくというタイプ。わたくしは、とくに中国という政治風土には、天安門の上で毛沢東が手を上げると、紅衛兵がワーという、これは無視できないことだと思うんです。

世界の独裁者を見ますと、ものすごくペラペラしゃべって大衆にアピールする、ヒトラー的な、カストロ的なもの。それから毛沢東は戦後ほとんど大衆の前でしゃべらなくなつたでしょう。毛沢東はしゃべらないほうがいいわけで、ことに激動のときにペラペラしゃべってしまったら、神秘性が出てこなかつた。これはカリスマの間題とも関係があるんですけども、どうでしょう。

菊地 スターリンと毛沢東の写真をくらべて見ても、ひじょうに似てるところがありますね。一定の角度からしか写さない。肖像もそうなんです。スターリンもだいたいきまっています。動線をたくさんさせた写真、それにスターリンは背が低かつたから、演説するときには、ひとに分からないように台の上に乗つたし、写真をうつす場合にもそういう配慮をしたんです。

しゃべらないほうが神秘的だという点では、スターリンも党大会その他では報告しているけれども、グルジャなまりだし、うまいしゃべり方はできないから。中嶋 毛沢東も湖南なまりがありますね。

菊地 そういう神秘的なものも両者とももつていたと思うんだけど、神秘的なものの内容は、スターリンの場合は、民衆にとっては恐怖という面が多分にあつたと思うんです。

松本 わたしはそれを感じましたね。スターリンがいたころのクレムリンは、なんとなく妖霊がただよっていましたけれども、最近いつてみると、ぜんぜんそんなことはない。フルシチョフ以後、ひじょうに明るくなりましたね。

菊地 明るくなって小物政治家の時代になつたんですね。スターリン時代は、スターリンに食事にかたわられることは……。

笹本 生きて帰れるかどうか分からなかつた。

菊地 みんなスターリンが何を言い出すか、ビクビクしながら食事をしていたというんですが、それは末端まで感じていたんですね。毛沢東の場合はスターリンとちがつて、恐怖で民衆をとらえるよりも、民衆が毛沢東を、中国革命の父である、われわれの生活水準をここまで引き上げてくれた、という尊敬の念をもつて見た、と思うんです。

中嶋 毛沢東はドゴールの死に際して弔電を打つた。これは異例

毛さん独特のユニークな人間性

菊地 民衆と一定の距離を置いて、民衆の前に自分の生身を出さない。これはカリスマ性の必要條件かも分らないけれども、毛沢東にはエドガー・スノーという人がついていたわけです。スノーはスターリンともインタビューしてありますが、内容がぜんぜんちがいます。スターリンの場合、まさにインタビューにおいてすら、

菊地 民衆と一定の距離を置いて、民衆の前に自分の生身を出さない。これはカリスマ性の必要条件かも分らないけれども、毛沢東にはエドガー・スノーという人がついていたわけです。スノーはスターリンともインタビューしてありますが、内容がぜんぜんちがいます。スターリンの場合、まさにインタビューにおいてすら、

カリスマ性を維持していますね。生身の人間がぜんぜん感じられないやとりですよ。スターリンは、自分はレーニンの弟子だ、というようなことばかり言ってるんですけども、毛沢東はスノーと対談して、自分は、破れ傘をぶらさけている坊主みたいなものである。とか、間もなく神様がお召しになるだろう。とか言ってる。

松本 だから、スターリンは毛沢東よりも教祖の部分が多いんじゃないですか。

笹本 スノーとの関係ができたことは、毛沢東の幸運ですよ。

菊地 ええ。スメドレーにしてもそうだと思います。毛沢東の生活そのものを出してくれて。

笹本 スターリンにはないことで、それはスターリンと毛沢東の人物の違いですね。スノーもスメドレーも、すばらしいジャーナリストだから、毛沢東がうちとけて深い心までもらして、それを立派な形で発表してくれる。世界中の人に読まれる。毛沢東にとっては宝ものみたいでした。

菊地 ぼくはスノーに会つて、おそらく最後会つた日本人かもしれないけれども、二時間ばかり会つたときに、彼は毛沢東のことを話してくれて、その中で、毛沢東という人は、いろいろなことがあるけれども、自分にとっては最もいい友達の人だ、といえるくらいにいい友達だ、と言つたんですね。

宇野 スノーが毛沢東のそういう人間的な側面をとりだして報



道した。雨後の途中でシラミを一生懸命で追っかけまわすとか、そういうところがスノーをひきつけただんでしよう。

それに、中嶋さんがちよつと触れられたように、独裁者という言葉が合うか合わないかは別として、そういう側面があることは否定しないんです。政治家ですから、当然、大衆との接触、大衆動員

ということ、つねに考えますよね。大衆を動かしにくいのに、恐怖で動かすのは最低でしょう。毛沢東はそれはやらなかった。

初期はわりあい、しゃべってます。そうして書いてます。ある時期からしゃべらなくなるんですけども、権力がある程度確立しちゃうと、あまり威張らなくて、ひっぱっていきけるんですね。

松本 毛語録があるから、しゃべらなくてもいいんじゃないですか。そのためにつくったものでしよう。

### 個人崇拜、中華思想の行方は？

宇野 演説なんかしないで、民衆に溶けこんでいって、カリスマ性を高めていく。並んで側を見ながら、笑ったり、さわいりしてカリスマ性が高まっていく。これはユニークなものです。

菊地 お祝いの会が天安門であつて、夜は花火が上げられると、側近のものがとめるのを振り切つて毛沢東はみんなの中にはいつて、石壁の上に腰かけて、あくらをかいて花火を見たりするんですね。これは側近の演出か、毛沢東

が自然にやるのか、知りませんが、あれども、ああいうことはスターリシにはない。宇野 民衆の中にはいつていて、少々活券を落としても平気な

思っています。松本 いたるところに毛沢東の肖像を出し、言葉を出してる。どこへいつても、「毛沢東のお陰です」と言う。人民公社でも学校でも、必ず言うんですね。率直にいつて、わたしは中国へ何度もいきましたけれども、それがいちばんいやでしたね。文革後はとくに激しいんです。ところが、最近、それが元へ戻ったんですね。林彪がいなくなつてからのことですよ。肖像画がなくなりました。

菊地 毛沢東のお陰です、という言葉を吐かしているものが、人為的なものであれ、革命の父だということ、ある程度の力をもつわけですね。

松本 それはわたしも認めますがね。たとえば耳の悪い人にハリ

治療をして、劉少奇時代は耳がきこえなかったが、毛沢東になつたらきこえた。(笑い)

菊地 ただね、たとえばスターリン時代のソ連では、スターリン個人崇拜のあらわれとして、ラジオもロケットも、あらゆるものがロシア人の発明発見なんだ、と言いましたね。そういうことは中国にはあまりないです。

中嶋 中国にも中華思想といわれるようなものが、どこかにあるような気がする。「燕山夜話」にも出てくるけれども、アメリカ大陸の発見を、コロンブスでなく中国人だと言うてしょ(笑い)。そういうことが、毛沢東崇拜も含めて、今後、どう変わっていくか、変わらないうか、興味あるところですね。

## 新刊 わたし自由席

森繁久彌著

絵・装幀 おおば比呂司

二冊ケース入り 単二、〇〇〇

森繁調といえは詩あり、歌あり、笑いあり、人の心を楽園にみちびく。芸歴四十数年大衆と共に歩みつづけた中にペンをとったのが「わたしの自由席」である。一章一章が読者の心を捉え人間の生甲斐を感じさせる正に名著である。(初版・二版・売切・三版好評発売中)

既刊

### 小幡欣治戯曲集

第1回菊田一夫演劇賞受賞 装幀・織田音也

上製美本箱入り 2,400円

菊田一夫亡きあと大衆演劇界を背負って立つ小幡欣治珠玉の代表作を収録した豪華版。

発行所

### 株式会社 大学書房

東京都豊島区池袋本町3-22-10 電話(03)971-3473 板橋口座/東京51167番

●お近くの書店にない場合は直接お申込み下さい。送料は無料です。

★毛主席語録★ もし彼らが戦おうとするならば、彼らを徹底的に消滅してやるまでだ。ものごとはこういうものだ。



# 週刊朝日

9-24

1976

増大号200円

中国の赤い巨星  
毛沢東逝く

毛死後の中国と世界はこうなる！  
〈座談会〉巨人政治家の時代は終わった  
毛沢東をめぐる四人の女性岡本隆三

巨人・毛沢東を裸にする

就職  
情報

有力100社の採用方針を直前公開！

新連載

「復讐めは我しあり」  
の鋭い放つ

越山田中角栄

佐木隆三  
たしえ 福田隆義

ホームマン・カーン

「十年後の日本は世界一豊かくなる」